

推奨消炎鎮痛薬リスト卓上版（2024年9月1日 歯薬協働 作成）

	1. 成人用	2. 小児用	3. 妊婦用
薬 剤 名	痛みの程度 弱 アセトアミノフェン 原末・錠剤（200・300・500mg）・坐剤（50・100・200・400mg） ・2%シロップ小児用・DS(20・40%)・細粒(20%・50%)	痛みの程度 弱・中・強 アセトアミノフェン 原末・錠剤（200・300・500mg）・2%シロップ小児用・DS(20・40%) ・細粒(20%・50%)・坐剤（50・100・200・400mg）	痛みの程度 弱・中・強 アセトアミノフェン 原末・錠剤（200・300・500mg）・DS(20・40%) ・細粒(20%・50%)
用法 用量	【原末・錠剤・DS・細粒】 300～1000mg/回 投与間隔は4～6h以上。 1日総量は4000mgが限度 【坐剤】 10～15mg/kg/回 投与間隔は4～6h以上。 (※) 上限は60mg/kg 500mg/回 1500mg/日	【原末・錠剤・シロップ・DS・細粒】 乳幼児及び小児：10～15mg/kg/回(1日総量60mg/kg上限)投与 投与間隔は4～6h以上 【坐剤】（1回投与量の目安） 体重5kg：50～75mg 体重10kg：100～150mg 体重20kg：200～300mg 体重30kg：300～450mg (※) ただし成人量（1回500mg、1日1500mg）を超えない。	【原末・錠剤・DS・細粒】 左記成人用と同じ 【坐剤】 妊婦・産婦には相対禁止
薬 剤 名	痛みの程度 中 セレコキシブ 錠剤（100・200mg）	(オプション) 痛みの程度 弱・中・強 イブプロフェン 錠剤（100・200mg）・顆粒(20%)	
用法 用量	錠剤：初回400mg 2回目以降は200mg/回 投与間隔6h以上 頓用：初回400mg 以降は200mg/回 6h以上あけて投与 1日2回まで	1日3回投与 (5～7才)200～300mg/日 (8～10才)300～400mg/日 (11～15才)400～600mg/日	
薬 剤 名	痛みの程度 中 ロキソプロフェンナトリウム 錠剤（60mg）・10%細粒		
用法 用量	【錠剤】60mg/回 1日3回毎食後投与 頓用：1回60～120mgまで		
薬 剤 名	痛みの程度 強 ロキソプロフェンナトリウム（1回2錠）		
用法 用量	【錠剤】頓用 1回2錠（120mg） 次回服用は4h以上あける		
薬 剤 名	痛みの程度 強 ジクロフェナクナトリウム 錠剤(25mg)・徐放カプセル剤(37.5mg)・坐剤(12.5・25・50mg) 注腸軟膏(25・50mg)		
用法 用量	【錠剤】75～100mg/日 分3回毎食後投与 頓用： 25～50mg/回 (徐放カプセル剤、坐剤、注腸軟膏は歯科領域の適応無し) 併用禁忌：トリアムテレン（急性腎障害があらわれたとの報告あり）		